

平成31年度 藤塚小学校 グランドデザイン

【教育目標】

正しく 明るく たくましく

【目指す学校像】

- 安全・安心な学校
- 笑顔があふれる学校
- 地域の拠り所となる学校

【目指す子ども像】

- 自ら考え表現する子ども
- 自分も相手も大切にできる子ども
- 健康に気を付けて体を鍛える子ども

【目指す教職員像】

- 一人一人を大切にできる教職員
- 人間性豊かな教職員
- 学び続ける教職員

【確かな学力の定着】

基礎・基本を身に付け、進んで自分の考えを伝える子どもの育成

- ①ワークテスト（国・算）で全国平均以上の子どもを85%以上に
- ②国語の授業において「友達とかわかって考えを深めることができた」子どもを85%以上に
- ③「10分×学年」の家庭学習が定着した子どもを90%以上に

【豊かな心の育成】

思いやりの心をもって、進んで人にかかわろうとする子どもの育成

- ①「学校が楽しい」「思いやりのある言葉がけをされる」と答える子どもを85%以上に
- ②進んで挨拶できる子どもを85%以上に
- ③学校生活の悩みを教師や家族に相談できる子どもを85%以上に

【健やかな体の育成】

運動と健康に関心をもち、進んで体力を高める子どもの育成

- ①体育の重点単元の振り返りで、自分の動きの向上や運動の楽しさについて記述する子どもを85%以上に
- ②1週間のうち5日以上で目標とする就寝時刻を守ることができた子どもを75%以上に

- 「新発田市授業スタンダード」に基づく主体的・対話的で深い学びの実現に向けた共通実践
- 紫雲寺中学校区の「授業三原則」の徹底
- どこで、どのような資質・能力を育成するのかを明確にした単元デザイン
- NRT学力検査の結果分析に基づく重点単元の設定
- Web配信過去問題を活用した知識・技能の定着
- 「家庭学習強調週間」の設定

- 教育活動全体をとおした「いじめをしない、許さない、命を大切にできる」意識の醸成
- 「考え、議論する道徳」による自己や他者、社会にとってよりよい判断ができる力の育成
- 特別活動における子ども主体の活動の推進
- 同和教育を中核にした人権教育の推進による差別や偏見を許さない意識、態度の育成
- 「生活振り返りアンケート」に基づく教育相談の充実

- 子ども一人一人が自らの伸びを実感できる手立ての工夫
- 運動する楽しさや喜びを体感できる授業づくり
- 運動に対する関心を高め、体力の向上を図る業間運動の実施
- 「食とみどりの新発田っ子プラン」に基づく「食育フェスティバル」や「弁当の日」の設定
- 規則正しい生活習慣の定着を図る「パワーアップ週間」の設定
- 生活習慣に関するたよりの定期的な発行

【一人一人を大切にされた特別支援教育】

- 特別支援教育推進委員会を中核とした全校支援体制の確立
- 「個別の指導計画」に基づく指導、支援の充実
- UDLの視点を取り入れた授業づくり

【子どもが安心して過ごせる環境づくり】

- 「いじめ防止基本方針」の共通理解と、いじめの未然防止、早期発見に向けた共通実践
- 命を守るための防災教育の推進
- 病気、アレルギー等の情報共有と対応訓練の実施

【家庭・地域との連携】

- 目指す子どもの姿やビジョンの共有
- 「子どもとともに1・2・3運動」の確実な実施
- 各種たより、HP等による積極的な情報発信
- 藤塚浜大運動会、地域合同避難訓練等における交流

【教職員の資質・指導力の向上】

- 新学習指導要領全面実施に向けた校内研修の充実
- 全教職員体制による初任者研修の実施
- 働き方改革の推進とライフワークバランスの重視
- 非違行為根絶に向けた当事者意識の醸成

